



# みつくら



## 《 北米産大豆 》

### 18/19年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省がこのほどまとめた、18/19年度の世界大豆生産・需給予測によれば、生産量は米国が大幅に増加したことで前回比2.1%増の3億6,710万トンとなりました。

生産量の大幅な増加に加え、需要量も減少したことにより、期末在庫量は前回比7.8%増の1億594万トンと大幅な上方修正となり、1億トンの大台を突破しました。

また、同日発表された米国大豆生産・需給予測によると、先月から単収が大きく増加したことで前回比7.5%増1億2,481万トンとなりました。

国内での搾油量・輸出量共に前回から増加したものの、小幅の上方修正にとどまったため在庫率が前回比4.7%増の18.4%と大幅に増加しています。

### 18/19年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	3億6,710万t	(対前年比 9.0%増)
消費量	3億5,364万t	(対前年比 4.8%増)
期末在庫量	1億594万t	(対前年比 10.8%増)
期末在庫率	30.0%	(対前年度差 1.6ポイント増)

### 18/19年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	1億2,481万t	(対前年比 4.4%増)
消費量	5,976万t	(対前年比 0.9%増)
輸出量	5,606万t	(対前年比 2.4%減)
期末在庫量	2,135万t	(対前年比 82.6%増)
期末在庫率	18.4%	(対前年度差 8.4ポイント増)



### ○米国大豆開花率、着サヤ率ともに例年より早い進捗。作柄も前年を上回る

米農務省が13日に発表した、8月12日現在の米国大豆開花率は、主要18州平均で96%（前週92%、前年93%、平年92%）と、前年比で3ポイント早い進捗となっています。

また、同日現在の米国大豆着サヤ率は、84%（前週75%、前年77%、平年72%）と、平年比で12ポイント早い進捗となっています。

同じく同日現在の米国大豆作柄概況は、主要18州平均で普通24%（前週23%、前年29%）、良好50%（前週51%、前年49%）、優良16%（前週16%、前年10%）と、良・優合わせて66%と前年を上回って推移しています。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



# みつくら



## 《 国産大豆 》

### ○平成29年産国産大豆入札情報

このほど日本特産農産物協会は平成29年産大豆最後となる7月の入札結果を発表しました。

それによると、上場数量4,544トンで、落札数量が2,188トン、落札率は48%という結果となりました。平均落札価格は、60kg/8,099円となり、前月から60kg/64円の値上がりとなりました。

普通大豆の銘柄別では、福岡県産フクユタカ大粒は約170円値上がりし全量落札。最も上場数量が多い北海道とよまさりが前月から約60円値上がりし、落札率も63%と、30ポイント以上上昇しました。東北銘柄でも秋田県産リュウホウ大粒は、約1,000円値上がりし、3か月連続の全量落札となりました。

29年産大豆最後の入札ということや全国的な猛暑、大雨などの影響で一部地域で生育不良の可能性が生じていることから先月と比べ大豆の確保に動く様子が見受けられました。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
18年 2月	9,877 t	2,585 t	26%
18年 3月	9,188 t	2,512 t	27%
18年 4月	9,384 t	2,900 t	31%
18年 5月	8,383 t	2,573 t	31%
18年 6月	5,554 t	1,884 t	34%
18年 7月	4,544 t	2,188 t	48%
合 計	59,110 t	18,305 t	31%

## 《 トピックス 》

### ○中国、15年ぶりの大豆輸入前年割れ、対米制裁が影響

中国農業農村部はこのほど2018年産大豆の輸入量が前年を下回る見通しを発表しました。7月から、米国産大豆に追加関税25%を課したことが影響したとみられます。輸入量の前年割れは15年ぶり。

農水省に当たる同部によると、18年産の輸入量は前年比2.2%減の9385万トン。米国産に追加関税を25%課する影響を受け、南米産が増えましたが、米国産の穴を埋めることができず、03年から増え続けてきた輸入量は15年ぶりに下落に転じました。半面、中国国内産の生産量は前年比5.6%増の1537万トンを見込んでいます。

しかしながら中国国内産の引き合いも強くなっており、日本への影響も懸念されます。現在、米中の貿易戦争が国際相場を左右しており、今後の動向に注目です。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>